

山村再生プロジェクト

収穫作業に汗

長和町

長和町で今月9日から11日に、東京農業大学（東京都）の学生たちなどが農産物の収穫を体験した。

これは、同町と同大学国際食料情報学部食料環境経済学



5月に播種した幻の大豆といわれる「コウジライズ」を脱穀する学生たち

科が連携して、町の活性化のあり方を探る事業「山村再生プロジェクト」によるもの。月1回、3日間の日程で2008年から行っている。

今年7回目となる活動には農大プロジェクト19人と、今年2月に同学科と教育協力協定を結んだ丸子修学館の高校生19人が参加した。

新そば祭り、ナガイモの収穫、大豆の脱穀などを実習。最終日には、今後の山村再生プロジェクトの取り組みについて話し合いが行われた。同町では、学生の柔軟な発想を生かした活性化の提案を期待している。

2013年1月1日発行の新年号「ながの」版では、プロジェクト事業での学生たちの1年間の活動を特集します。